

宅建士・行政書士からのステップアップセミナー

1. 宅建士からのステップアップ

司法書士はその中心業務に「不動産登記業務」が挙げられるように宅建士と同じ「不動産」を扱うため、宅建士との関連性も高く、ステップアップやWライセンスにぴったりな資格といえます。宅建士で身につけた「法律」「不動産」の知識をより深く社会の中で役立てることが可能になる資格、それが司法書士です。

宅建士の学習が活かせる試験科目

全配点中、60%以上で宅建士の学習が活かされます！

司法書士試験科目	問数／配点【配点割合】	宅建士からのアドバンテージ
憲法	択:3問／9点【3.2%】	-
民法	択:20問／60点【21.4%】	◎
刑法	択:3問／9点【3.2%】	-
商法・会社法	択:9問／27点【9.6%】	-
民事訴訟法	択:5問／15点【5.4%】	○
民事保全法	択:1問／3点【1.1%】	△
民事執行法	択:1問／3点【1.1%】	△
司法書士法	択:1問／3点【1.1%】	-
供託法	択:3問／9点【3.2%】	△
不動産登記法	択:16問 記:1問／択:48点 記:35点【29.6%】	○
商業登記法	択:8問 記:1問／択:24点 記:35点【21.1%】	-

択:択一式 記:記述式

◎:大いに有利 ○:民法または商法・会社法と密接に関連 △:民法に知識が活きる

2. 行政書士からのステップアップ

行政書士と司法書士は試験科目が多く重なっており、行政書士試験に合格する力があれば司法書士試験においても非常に有利な位置から学習をスタートすることができます。また、両資格の業務範囲は隣接しているため、クライアントへのワンストップソリューションが可能になるケースが多くあります。結果、顧客満足度を高めることができ、より多くのクライアント獲得に繋がります。

行政書士の学習が活かせる試験科目

全配点中、95%以上で行政書士の学習が活かされます！

司法書士試験科目	問数／配点【配点割合】	行政書士からのアドバンテージ
憲法	択:3問／9点【3.2%】	◎
民法	択:20問／60点【21.4%】	◎
刑法	択:3問／9点【3.2%】	-
商法・会社法	択:9問／27点【9.6%】	◎
民事訴訟法	択:5問／15点【5.4%】	○
民事保全法	択:1問／3点【1.1%】	△
民事執行法	択:1問／3点【1.1%】	△
司法書士法	択:1問／3点【1.1%】	-
供託法	択:3問／9点【3.2%】	△
不動産登記法	択:16問 記:1問／択:48点 記:35点【29.6%】	○
商業登記法	択:8問 記:1問／択:24点 記:35点【21.1%】	○

択:択一式 記:記述式

◎:大いに有利 ○:民法または商法・会社法と密接に関連 △:民法に知識が活きる